



# Cloud Volumes ONTAP データの Azure BLOB ストレージへのバックアップ

## Cloud Manager

Tom Onacki, Ben Cammett  
May 05, 2021

# 目次

Cloud Volumes ONTAP データの Azure BLOB ストレージへのバックアップ .....	1
クイックスタート .....	1
要件 .....	3
新しいシステムでの Cloud Backup の有効化 .....	4
既存のシステムでの Cloud Backup の有効化 .....	5

# Cloud Volumes ONTAP データの Azure BLOB ストレージへのバックアップ

Cloud Volumes ONTAP から Azure Blob Storage へのデータのバックアップを開始するには、いくつかの手順を実行します。

## クイックスタート

これらの手順を実行してすぐに作業を開始するか、残りのセクションまでスクロールして詳細を確認してください。

構成がサポートされていることを確認します

- Cloud Volumes ONTAP 9.7 以降を Azure で実行している。
- バックアップを格納するストレージスペースに対する有効なクラウドプロバイダのサブスクリプションが必要です。
- に登録しておきます ["Cloud Manager Marketplace のバックアップソリューション"](#)またはを購入したことが必要です ["アクティブ化されます"](#) NetApp の Cloud Backup BYOL ライセンス。

新規または既存のシステムで **Cloud Backup** を有効にします

- 新しいシステム： Cloud Backup は、作業環境ウィザードではデフォルトで有効になっています。このオプションは必ず有効にしておいてください。
- 既存のシステム：作業環境を選択し、右パネルのバックアップと復元サービスの横にある \* 有効化 \* をクリックして、セットアップウィザードに従います。



プロバイダの詳細を入力します

プロバイダのサブスクリプションとリージョンを選択し、新しいリソースグループを作成するか、既存のリソースグループを使用するかを選択します。

### Provider Settings

Azure Subscription

Azure\_Subscription\_1 ▼

Region

us-east-2 ▼

Resource Group

☐ Create a new ☒ Use an existing

Select an Existing Resource Group

Resource\_Group\_1 ▼

#### バックアップポリシーを定義

デフォルトポリシーでは、毎日ボリュームがバックアップされ、各ボリュームの最新の 30 個のバックアップコピーが保持されます。日単位、週単位、または月単位のバックアップに変更するか、システム定義のポリシーの中からオプションを追加するものを 1 つ選択します。

### Define Policy

**Policy - Retention & Schedule** ☒ Create a New Policy ☐ Select an Existing Policy

☒ **Daily** Number of backups to retain 30 ▼

☐ **Weekly** Number of backups to retain 52 ▼

☐ **Monthly** Number of backups to retain 12 ▼

**DP Volumes** Data protection volume backups use the same retention period as defined in the source SnapMirror relationship by default. Use the API if you want to change this value

**Storage Account** Cloud Manager will create the storage account after you complete the wizard

#### バックアップするボリュームを選択します

Select Volumes（ボリュームの選択）ページで、バックアップするボリュームを特定します。

#### 必要に応じて、データをリストアします

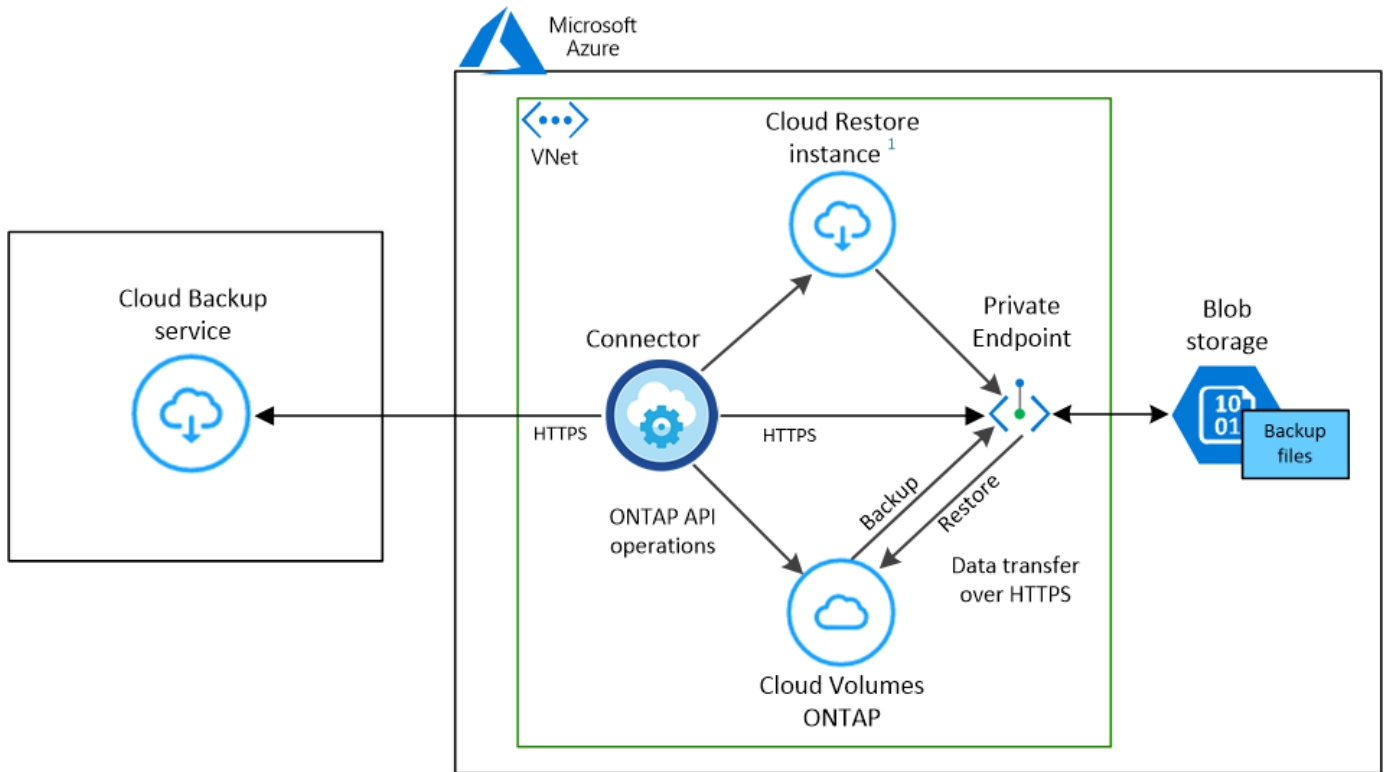
バックアップ全体を新しいボリュームにリストアするか、またはバックアップから既存のボリュームに個々のファイルをリストアするかを選択します。データは、Azure 内の Cloud Volumes ONTAP システムまたはオンプレミスの ONTAP システムにリストアできます。

を参照してください ["バックアップファイルからのボリュームデータのリストア"](#) を参照してください。

## 要件

Azure Blob Storage へのボリュームのバックアップを開始する前に、次の要件を確認し、サポートされている構成であることを確認してください。

次の図は、各コンポーネントとその間の準備に必要な接続を示しています。



サポートされている **ONTAP** のバージョン

Cloud Volumes ONTAP 9.7 以降。

サポートされている **Azure** リージョン

Cloud Backup はすべての Azure リージョンでサポートされます ["Cloud Volumes ONTAP がサポートされている場合"](#)。

ライセンス要件

Cloud Backup BYOL ライセンスを使用するには、ライセンスの期間と容量にサービスを使用できるように、ネットアップから提供されたシリアル番号が必要です。を参照してください ["バックアップ BYOL ライセンスを追加および更新する"](#)。

また、バックアップを格納するストレージスペースには、Microsoft Azure サブスクリプションが必要です。

# 新しいシステムでの Cloud Backup の有効化

Cloud Backup は、作業環境ウィザードではデフォルトで有効になっています。このオプションは必ず有効にしておいてください。



を参照してください ["Azure で Cloud Volumes ONTAP を起動します"](#) を Cloud Volumes ONTAP 参照してください。



リソースグループの名前を選択する場合は、Cloud Volumes ONTAP を導入する際に \* disable \* Cloud Backup と入力します。の手順に従います [既存のシステムでの Cloud Backup の有効化](#) Cloud Backup を有効にしてリソースグループを選択します。

## 手順

1. [ Cloud Volumes ONTAP の作成 \* ] をクリックします。
2. クラウドプロバイダとして Microsoft Azure を選択し、シングルノードまたは HA システムを選択します。
3. Azure クレデンシャルの定義ページで、クレデンシャル名、クライアント ID 、クライアントシークレット、およびディレクトリ ID を入力し、\* 続行 \* をクリックします。
4. 詳細とクレデンシャルページに必要事項を入力し、Azure Marketplace サブスクリプションが登録されていることを確認して、「\* Continue \*」をクリックします。
5. [ サービス ] ページで、サービスを有効のままにして、[\* 続行 ] をクリックします。

 Backup to Cloud 

---

Integrated backup for Cloud Volumes ONTAP based on SnapMirror and Snapshot technologies. Backup copies are maintained in Storage Accounts. Backups stored in Storage Accounts are charged separately from Cloud Volumes ONTAP.

ADVANTAGES	CLARIFICATIONS
✓ Automatically back up all volumes.	➤ Backup settings are editable after working environment creation.
✓ Creates new backup copy every day.	
✓ Retains backups for 30 days.	

6. ウィザードの各ページを設定し、システムを導入します。

Cloud Backup はシステムで有効になり、ボリウムを毎日バックアップして、最新の 30 個のバックアップコピーを保持します。

可能です ["ボリウムのバックアップを開始および停止したり、バックアップを変更したりできます スケジュール"](#) また、次のことも可能です ["ボリウム全体または個々のファイルをバックアップファイルからリストアする"](#)。

# 既存のシステムでの **Cloud Backup** の有効化

作業環境から Cloud Backup をいつでも直接有効にできます。

## 手順

1. 作業環境を選択し、右パネルの [バックアップと復元] サービスの横にある [\*Enable] をクリックします。



2. プロバイダの詳細を選択し、\* 次へ \* :
  - a. バックアップの格納に使用する Azure サブスクリプション。
  - b. バックアップを保存するリージョン。
  - c. リソースグループ - 新しいリソースグループを作成することも、を選択して既存のリソースグループを選択することもできます。

サービスの開始後に、サブスクリプションまたはリソースグループを変更することはできません。

3. [Define Policy] ページで、バックアップスケジュールと保持の値を選択し、[\* Next] をクリックします。

### Define Policy

**Policy - Retention & Schedule**    ☒ Create a New Policy    ☐ Select an Existing Policy

☒ **Daily**    Number of backups to retain:

☐ **Weekly**    Number of backups to retain:

☐ **Monthly**    Number of backups to retain:

---

**DP Volumes**    Data protection volume backups use the same retention period as defined in the source SnapMirror relationship by default. Use the API if you want to change this value

---

**Storage Account**    Cloud Manager will create the storage account after you complete the wizard

を参照してください ["既存のポリシーのリスト"](#)。

4. バックアップするボリュームを選択し、 **\* バックアップのアクティブ化 \*** をクリックします。

57 Volumes						
<input checked="" type="checkbox"/>	Volume Name	Volume Type	SVM Name	Used Capacity	Allocated Capacity	Backup Status
<input checked="" type="checkbox"/>	Volume_Name_1	RW	SVM_Name_1	0.25 TB	10 TB	⊖ Not Active
<input checked="" type="checkbox"/>	Volume_Name_2	RW	SVM_Name_2	0.25 TB	10 TB	⊖ Not Active
<input checked="" type="checkbox"/>	Volume_Name_3	RW	SVM_Name_3	0.25 TB	10 TB	⊖ Not Active
<input checked="" type="checkbox"/>	Volume_Name_4	DP	SVM_Name_4	0.25 TB	10 TB	⊖ Not Active
<input checked="" type="checkbox"/>	Volume_Name_5	RW	SVM_Name_5	0.25 TB	10 TB	⊖ Not Active

- 。すべてのボリュームをバックアップするには、タイトル行 (☒ **Volume Name**)。
- 。個々のボリュームをバックアップするには、各ボリュームのボックス (☒ **Volume\_1**)。

Cloud Backup が起動し、選択した各ボリュームの初期バックアップの作成が開始されます。 Backup Dashboard が表示され、バックアップの状態を監視できます。

可能です ["ボリュームのバックアップを開始および停止したり、バックアップを変更したりできます スケジュール"](#) また、次のことも可能です ["ボリューム全体または個々のファイルをバックアップファイルからリストアする"](#)。



## Copyright Information

Copyright © 2021 NetApp, Inc. All rights reserved. Printed in the U.S. No part of this document covered by copyright may be reproduced in any form or by any means-graphic, electronic, or mechanical, including photocopying, recording, taping, or storage in an electronic retrieval system-without prior written permission of the copyright owner.

Software derived from copyrighted NetApp material is subject to the following license and disclaimer:

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY NETAPP "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, WHICH ARE HEREBY DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL NETAPP BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

NetApp reserves the right to change any products described herein at any time, and without notice. NetApp assumes no responsibility or liability arising from the use of products described herein, except as expressly agreed to in writing by NetApp. The use or purchase of this product does not convey a license under any patent rights, trademark rights, or any other intellectual property rights of NetApp.

The product described in this manual may be protected by one or more U.S. patents, foreign patents, or pending applications.

RESTRICTED RIGHTS LEGEND: Use, duplication, or disclosure by the government is subject to restrictions as set forth in subparagraph (c)(1)(ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software clause at DFARS 252.277-7103 (October 1988) and FAR 52-227-19 (June 1987).

## Trademark Information

NETAPP, the NETAPP logo, and the marks listed at <http://www.netapp.com/TM> are trademarks of NetApp, Inc. Other company and product names may be trademarks of their respective owners.